Sustainability Action

2023年4月

SEIBU SOGO

【そごう千葉店】

食を通じて地域の方々に千葉市の魅力を発信

春の千葉市食のブランド『千』フェアを開催

千葉市と包括広域連携協定を締結し、千葉駅周辺の賑わいづくりや価値向上に向けて様々な取り組みを推進するそごう千葉店では、4月7日（金）より地階食品売場に「千葉市食のブランド『千』コーナー」を新設し、常時での取扱いを開始しました。千葉市食のブランド『千』は、「千葉市の食を千年先へ」をコンセプトに掲げ2020年に創設されたもので、2022年までに厳しい独自の基準をクリアした農産品、加工食品、サービス関連の28種類が認定されています。4月7日（金）～9日（日）、15（土）～16日（日）に開催した「春の千葉市食のブランド『千』フェア」では、常設販売コーナーでの加工食品8商品の取り扱いに加え、ブランドに認定された3農園のいちごも特別販売。あわせて店内のお取引先さまのご協力のもと、ブランド認定の各いちごを使用したスイーツも販売し、地域の多くのお客さまに向け、地域の豊かな食文化をお伝えする機会となりました。

遠目からでも目を引く「千」コーナーのサイン

←各商品にブランドロゴシールを貼付け統一感を演出

各生産者のこだわりをPOPで掲出。閉店前に完売しました

千葉市食のブランド「千」 認定サービス「24コーナー」

千葉県産の野菜や果物を収穫から24時間以内に直送し毎週水・木曜日に、そごう千葉店地階の長塚青果で販売。規格外品も取り扱うことで、食品ロス削減にもつながっています。

この取組みにより、国連で定めた
SDGsの目標 4・8・17の達成に貢献します。